



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取县国际交流财团

とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN / 鸟取国际通讯

No. 111
Sep. 2014



写真 国際交流の集い「とっとりから世界めぐりの旅へ」(7月27日開催)
World Travel from Tottori: 7/27
国际交流集会「从鸟取飞向世界之旅」(7月27日开办)

目次 Contents 目录

TPIEFだより

02-03

- ・事業の開催報告、事業開催のお知らせ
- ・財団の事務所を紹介します!「本所」

特集

「平成26年度 鳥取県海外研修員、 県費留学生の紹介」

04-05

- ・元海外研修員・県費留学生は今...

民間交流団体の紹介

06

- ・Sun-in台湾人会
- ・鳥取県日協

鳥取県に暮らす

07

- ・自転車の交通ルール、知っていますか?

JICAデスクよりお知らせ

07

英語版・中国語版ダイジェスト

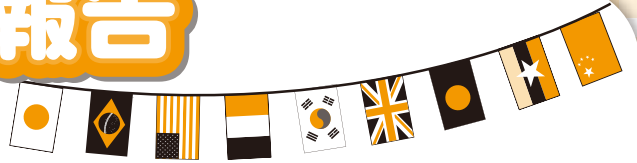
08-09

Information in English and Chinese 英文版・中文版文摘

- ・Projects Report
- ・Upcoming Ventures
- ・Introducing TPIEF's Head Office
- ・Living in Tottori "Do You Know the Rules of the Road for Bicycles?"
- ・事业开办的报告
- ・事业开办的通知
- ・财团的事务所介绍!「本所」
- ・生活在鸟取之「自行车的交通规则,您知道吗?」

図書情報等

10



国際交流の集い

東部 とっとりから世界めぐりの旅へ♪
7月27日(日)／鳥取空港国際会館1階 センタープラザ

受付でパスポート(スタンプラリー用紙)を受け取って、いざ世界へ出発!

初対面同士の外国出身者と日本人の参加者がペアになり、一緒に文化体験を楽しみました。

会場では外国出身ゲストの話や聞きほか、様々な体験コーナーを設置。もちろん日本の伝統もあります。けしごむはんこ作り、筆で書く「暑中見舞いはがき」、倉吉緋の機織り体験、草木染め、一輪挿しにも挑戦。琴に初めて触れた外国出身者の中には「さくら」を一曲覚えて帰った方もいました。

いろいろな国の文化体験を通して、日本の良さに気づくことはありませんか。

日本人みんなが着物を着ることができないわけではない、カナダは英語以外の言語を話す人も多い、「ムーミン」のお話は本国フィンランドで日本ほど人気がない…。皆さんの中にあつた思い込みは、きっと薄れているでしょう。

もしお隣りの家に外国出身の方が引っ越してきたら、あなたはどうしますか?まずは、にっこりと笑って挨拶しましょう。お互いの個性を認め合い、身近な理解から多文化共生への一歩を踏み出したいものです。

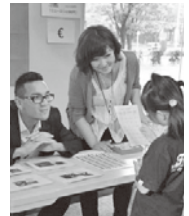


西部 ようこそ地球村へ～世界をめぐって異文化体験～
7月13日(日)／米子コンベンションセンター 情報プラザ

イベント開始時、国名は秘密。登場したのは、7カ国7名の外国出身ゲスト。誰がどこの国の出身なのか、見ただけでは分かりません。

まずはゲストが話す母語と英語でのインタビューによって出身国を推測します。耳慣れた外国語もあれば、ベンガル語など初めて聞く外国語も。参加した方々は、時間の経過とともに期待と驚きを繰り返しながらゲストの出身国「バングラデシュ、ミャンマー、中国、韓国、アメリカ、イギリス、フランス」をそれぞれ当てていきました。また、イベント後半に開催した“地球バザール”では、7カ国の模擬紙幣を手に「これください」「ありがとう」など覚えてた現地の言葉を駆使しながら、会場に設置した各国の模擬店で買い物を疑似体験しました。

楽しみながら異文化への扉を開け、理解を深めるとともに一歩踏み出して自分から話しかけることで少しずつ世界が広がっていくおもしろさを体感しました。



コミュニティ通訳ボランティア研修会

そうだ! 免許センターへ行こう! 7月28日(月)／中部地区運転免許センター

近年、運転免許センターへの通訳ボランティア派遣の依頼が増えていることもあり、通訳ボランティアの方を対象に外国免許の切り替えに関する一連の流れを学び、今後の通訳活動に活かしていただくための研修会を開催しました。

当日は「日本の運転免許について」「外国の運転免許を日本の運転免許証に切り替えるには?」と題し、運転免許センターの職員の方々から免許切り替えの手順などを学びました。また、免許切り替えに必要な手続きの通訳は、ロールプレイでも体験しました。「収入証紙」は英語や中国語になるとどう表現するのか、視力検査の「C」はどう説明すればいいのかなど、ロールプレイのなかで、受講者それぞれが積極的に意見交換しながら挑戦している姿が印象的でした。

今後も実践に即した研修会を企画していきたいと思います。



大人のための国際理解講座 (第1回～第3回)

より気軽に世界の各国事情に触れていただけるよう、それぞれの国の出身者や縁のある方を講師として迎え、財団本所で講座を開催しました。1時間の講座の後にはどの回でも茶話会を開き、講座に関連した書籍や民芸品、写真等の展示品を見ながら、講師を囲んで色々な話で盛り上がりました。

第1回 暮らしてみたモンゴル
5月13日(火)



【第1回講師】
宮本 晶夫さん

首都ウランバートルでボランティアとして2年間活動された体験談を交えて、人々の暮らし、食文化、日本との働き方の違い等、現地の様々な話題についてお話しいただきました。

第2回 ロシアの歴史をたどる
6月18日(水)



【第2回講師】
リー・ヴァチエスラフさん

現在開催中の砂の美術館「砂で世界旅行～ロシア編～」の砂像の写真を見ながら、ロシアの歴史と文化について紹介いただきました。

第3回 聞いて見てモロッコ
7月17日(木)



【第3回講師】
浅野 由嘉さん

村落開発のボランティア活動で出会った人々とのエピソードや、多様な文化が混在するモロッコの魅力、ボランティア活動の在り方等多岐に渡ってお話しいただきました。

事業開催のお知らせ

第2期

日本語クラス

受講料 無料

在住外国出身の方々が生活に役立つ日本語を学びます。講師と日本語ボランティアが協力して学習をサポートしますので、お知り合いの外国出身者の方にぜひご紹介ください。また、詳細については各事務所（10ページ掲載）までお問い合わせください。

		日 時		会 場	
東 部 (本 所)	9/7~12/14	日曜日	0クラス(基礎導入)	10:00~11:00	財団本所
			A①クラス(基礎)	11:00~12:30	
			A②クラス(基礎)	13:00~14:30	さざんか会館 または 鳥取市高齢者福祉センター
			B①クラス(初級会話)		
			B②クラス(生活漢字)		
Cクラス(中級)	14:40~16:10				
中 部 (倉吉事務所)	9/3~11/26	水曜日	水曜日クラス(基礎)	13:30~15:00	鳥取県中部総合事務所別館 県立倉吉体育文化会館
	9/7~11/30	日曜日	水曜日クラス(会話) 日曜日クラス(基礎)		
西 部 (米子事務所)	9/14~2/8	日曜日	初級クラス 中級クラス	10:15~11:45	米子コンベンションセンター または米子市文化ホール

国際交流 フェスティバルのご案内

東 部

第26回タイムフェスティバル

「Next Step~次の一歩@世界へ~」

日時: 11/24(月・振替休日)
11:00~15:30

会場: とりぎん文化会館
(鳥取市尚徳町101-5)

中 部

くらよし国際交流 フェスティバル2014

「地球はひとつ☆みんなでつなぐ笑顔のWa」

日時: 12/7(日) 10:00~15:00(予定)

会場: 伯耆しあわせの郷
(倉吉市小田458)

西 部

国際交流団体の紹介展示

日時: 10/24(金)~11/9(日)(予定)

会場: 米子市立図書館2階 展示ギャラリー
(米子市中町8)

<併催: 講演会>

講師: 園師 照幸氏(英国国際教育研究所代表)

日時: 10/26(日) 14:00~16:00

会場: 米子市立図書館2階 多目的研修室

財団の事務所 を紹介します 【3回シリーズ】

第1回: 本所

第2回

第3回

今回から3回に渡って、鳥取県国際交流財団の各事務所の様子をご紹介します。

第1回目の今回は「本所」。平成2年に鳥取県の国際交流の拠点として鳥取市に設立され、平成8年からは「空の玄関」である鳥取空港の国際会館1階に位置しています。

本所は、広く一般の方々へ開かれた施設である「国際交流センター」の管理運営も行っており、当財団のメイン事務所としての機能と国際交流の出会いの場としての機能を兼ね備えたものとなっています。それでは、ちょっと事務所の様子をのぞいてみましょう!



財団本所では、
皆様のご来所を
お待ちしております



▲ 入口



▲ ボランティアの
協力で日本語を
学習しています



▲ 気軽に利用できる
図書スペースもあります



▲ 外国人コーディネーターが
日常相談に乗ることも



▲ キッズスペースで遊びながら交流



平成26年度鳥取県海外研修員、 県費留学生の紹介

【鳥取県海外研修員、県費留学生とは？】

鳥取県は交流している国や地域から、毎年、専門機関で研修する研修員と、県内の大学で専門分野を学ぶ留学生を受け入れています。26年度は、韓国、中国、ブラジルからそれぞれ1名ずつ来日して研修や研究に励んでいます。



鳥取県・韓国江原道職員相互派遣事業研修員

パク ジョンウ
朴 正又 さん

 韓国 | 江原道出身



鳥取へ来た4月はとても寒かったけど、もう9月です。本当に時間が経つのは早いですね。鳥取へ来てからの3ヶ月間、日本語が不十分だったためにあれこれミスをしたことを思い出すと、たまに笑ってしまったり恥ずかしくなってしまうことがあります。初めて釣具店に行って「見物してもいいですか」と言ったら、おかしな人と思いながらも「ハイ」と言ってくれた店の主人、後で知りましたが、「見てもいいですか」が正しいですね。なのに、韓国式で聞いてしまったため、店の主人は慌てたようです。それから、マート。あ！これも日本語ではスーパーと呼ぶのです。自転車店や美容室など、今でも周りの人の助けをもらいながら、楽しい時間を過ごしています。居酒屋に通ったり、時間があれば旅行や日本文化体験もしています。また、辛い物が好きで、カレーライスやカレーラーメンをよく食べています。やはり辛いものはおいしいです。でもある店で、辛～いカレーを食べた時、汗がたくさん出て「辛い!」と叫んだことがあります。

現在は、鳥取県庁内の各関係部署をまわりながら、私の専門である地下水の調査について研修を受けています。

今年は、鳥取県と江原道交流20周年です。もっとみんなが楽しく国際交流できる関係になるよう貢献したいです。そして、たくさんの日本の友達と付き合って面白い研修生活にしていきたいです。



自治体職員協力交流研修員

リ シーベイ
李 希沛 さん

 中国 | 吉林省長春市出身



私は、中国で長春市高新技术産業開発区管理委員会に勤務し、企業を誘致したり、投資を募る仕事をしています。5月18日に日本に到着し、まず滋賀県のJIAM(全国市町村国際文化研修所)で1ヶ月ぐらい日本語研修を受けました。JIAMでは、色々な国から来た研修員と友達になりました。その後、鳥取県に来ました。

鳥取県の印象は人が優しく、街もきれいで、静かな所ということです。初めて鳥取で列車に乗ったとき、列車のドアが自動ではないことに気づき、びっくりしました。最近では、観光周遊タクシーで浦富海岸に行きましたが、外国人は3時間で1,000円払うだけで利用でき、外国の観光客にとって、安くて、便利で、良い取り組みだと思います。親切な運転手と一緒に観光でき、景色もとてもきれいでした。

今は鳥取県庁の交流推進課で仕事をしています。県庁に自転車で通勤していますが、私は自転車が上手ではありません。それでも、毎朝自転車で県庁に頑張って行っています。鳥取の生活では、電話で話すとか、歓迎会で同僚としゃべるとか、デパートで生活用品を買うとか、日本語を勉強する機会がたくさんあります。また、毎週土曜日になると、鳥取大学で私の趣味であるバスケットボールを留学生たちと楽しんでいます。

帰国後は、鳥取県で学んだ対外経済交流や投資を募る知識を生かして、長春市と鳥取市との交流や経済発展を促進させたいと思います。また、日本と中国との良い関係を維持するために、頑張りたいと思います。



鳥取県ブラジル交流促進事業県費留学生

 ブラジル | サンパウロ州出身



ニシザカ・ダニロ・ヨイチさん

私はサンパウロ州サン・カエタノ・ド・スル生まれの日系4世です。

祖父が倉吉市の出身で、祖母は米子市の出身です。

去年12月にマウア工科大学制御自動化工学科を卒業し、今年4月に、鳥取に来ました。鳥取大学大学院工学研究科の西田信一郎教授の制御・ロボティクス研究室で、火星探査ロボットについて研究をしています。専門用語が難しく大変ですが、他の学生がわかりやすく説明してくれるので、本当に助かっています。

今年、ブラジルでワールドカップがあり、日本とブラジルを応援しましたが、残念ながらどちらも負けました。いろいろ考えはありますが、私はブラジルでワールドカップを開催するのは反対でした。ブラジルには学校や病院がもっと必要なのに、お金をワールドカップに使ったのは間違いだと思っているからです。ブラジルでワールドカップ開催を反対する人々はたくさんいましたが、テレビで開催を反対する抗議活動が放映されたのを見たのは一度だけでした。

これまでも鳥取砂丘や浦富海岸を見に行き、8月にはしゃんしゃん祭りにも参加しました。鳥取県はとても美しいところなので、これから色々な場所へ出かけて行くつもりです。

鳥取大学の皆さんをはじめ、お世話になっている鳥取県の皆さんにとっても感謝しています。ここで学んだ知識や文化や色々な素敵な体験をブラジル人に教えたいです。帰国まで頑張りますので、よろしくお願いします！

元海外研修員・ 県費留学生は今…

以前、自治体職員協力交流研修員や県費留学生として鳥取県で交流を深められた2人の方に近況を報告していただくとともに、その後の鳥取県との関わりなどについて寄稿していただきましたので、ここにご紹介します。

平成15年度

【自治体職員協力交流研修員
(韓国江原道から派遣)

ウォン ホンシク

元 鴻植さん

(駐大韓民国神戸総領事館 領事)



神戸在住

2003年から2004年にかけて一年間、鳥取県庁福祉保健課で研修を受けました。研修終了後は、江原道庁へ戻りましたが、2013年4月から現在の職に就いています。

私にとっての鳥取県は、第2の故郷のような場所です。一年間の研修が終わってからも、幾度となく鳥取県を訪れています。現在の職である神戸総領事館でも管轄地域の中に鳥取県が含まれており、今年既に4回訪問し、旧友との再会を果たしました。

7月12日には、在日本大韓国民団鳥取県地方本部米子支部の主催による講演会で講演「今も暖かい日韓関係、なので希望がある」を行いました。来年は日韓の国交正常化50周年という記念すべき年にあたります。現在、韓国と日本は難しい問題に直面していますが、私自身は「政治は政治、交流は交流、人は人」と感じています。現在、政治は冷え込んでいるかもしれませんが、しかし、人の交流は熱いのです。また、友人は作るのですが、隣人は選べません。来年に向けて、鳥取県での日韓交流がより活性化していくことを願って止みません。



平成22年度

【鳥取県ブラジル交流促進事業
県費留学生]

アンドレ・コウジ・ニシザカさん

(西坂デンタルオフィス 院長)



ブラジル在住

私はブラジルのサンパウロ州生まれの日系3世です。ブラジルで歯科大学を卒業後、2010年から2011年にかけて、県費留学生として鳥取大学医学部附属病院の歯科口腔外科で勉強させていただきました。



帰国後は、2011年にサンパウロ市内に「西坂デンタルオフィス」を開業しました。開業して4年で患者は800人にまで増えました。オフィスでは一般的な歯科治療を行いながら、私の専門である小児外科、義歯、そして歯周病の治療等も行っています。また、2012年には、仕事をしながら歯科矯正専門学校に入学し、「歯列矯正」の研究を新しく始めました。歯列矯正とは、かみ合わせの悪い歯並びを、自分の歯を生かしたまま治療することを言います。

仕事以外の活動では、ブラジル鳥取県人会の理事に着任しました。毎月会議が行われ、日本文化のイベントを企画・運営しています。それから、アセベックス(=ASEBEX、ブラジル日本留学生・研修生OB会)にも2011年から参加しています。毎年1月頃になると、日本への留学希望者を対象にした講習を行います。私は講師として日本での留学経験をもとに、日本文化などの話をしています。

ブラジルに帰国してから4年の月日が経ちました。今も日本のことを懐かしく思うことがあります。鳥取県のきれいな景色、美味しい二十世紀梨、たくさんの友だちのことは決して忘れることはありません。このような機会を与えてくださった鳥取県の皆様には今も心から深く感謝しています。これからもブラジルでがんばります！